

MADONNA

St.Mary's College Campus Letter

聖マリア学院大学キャンパスレター [マドンナ]
Vol.17



特集

ボランティアの報告

「熊本地震における傾聴ボランティア活動」 P3・4

平成29年度「アメリカ研修旅行」 P5

CAMPUS TOPICS

「米国の姉妹大学・施設との交流30周年記念」 P7



聖マリア学院大学の教育理念

聖マリア学院大学は、「カトリックの愛の精神」に基づく教育研究を行って、豊かな人間性と深い教養を具え、高度の看護知識と技術に基づく科学的な看護実践能力を養い、広く人間社会の健康に寄与できる。篤実有能な人材を育成することを目的としています。

ミゼリコルディアの鐘

いよいよ、待望の図書館棟が竣工となります。図書館正面の塔にはキリシタン時代に長崎にあったサンチャゴ病院の鐘（1612年）をモデルとした鐘を、「ミゼリコルディアの鐘」として作成し設置することにしました。ミゼリコルディアとは、現代的には「慈しみの心」という意味です。

医師であり修道士であつたルイスデ・アルメイダが、豊後（大分に府内病院を開設（1557年）した際に、キリシタン信徒もミゼリコルディア（慈悲の組）という組織を立ち上げ、混乱して貧しい戦国の世の中にも拘わらず、12人の若者は慈しみの心をもつて貧困の者や病者を収容し看護を行いました。我が国での最初の組織的な看護の実践であつたとキリシタン研究家の片岡弥吉先生は述べられています。このミゼリコルディアの組織は、キリシタンが居るところ各地に形成されましたが、アルメイダが布教に尽くし、葦の野原から急発展した長崎においても開設され、最も充実した活動として華開きました。「長崎においては、堺の金細工商人であつた日本人キリシタン（洗礼名…ジェスチノ）が長崎に来てミゼリコルディアの組を作り、その夫人（洗礼名…ジユスタ）が12人の夫人を誘つて隣人愛の仕事を奉仕した。男性の手の及ばない病人の介抱、身の回りの世話など組

には長崎のミゼリコルディアの最後の組長ミゲル葉屋が西坂で殉教し、長崎のミゼリコルディアは設立50年目にして途絶えました。

著名な小説家である司馬遼太郎氏が、紀行文「街道をゆく」の「肥前の諸街道」の項にて、「この長崎における慈恵院の存在とそこで働いていた一群の日本人たちは、社会奉仕という精神や習慣はほとんどなかった日本の伝統のなかにあつて、破天荒なことをしていたということがいえる。カトリックが入つて一世代過ぎたか過ぎないかという時期に、功利的な伝統から離れた新たな日本人が出現していること驚かざるをえない。長崎には、慈恵院立の医療設備のほかに、教会立のサンチャゴ病院があつた。これらのにぎわいは、この種の設備のまったくなかつた当時の日本において、壮大な偉観であつたにちがいない。」と述べています。

アルメイダの豊後の病院で、キリシタンの日本人信徒により生まれ、

聖マリア学院大学の教育の特色

- 「人間の尊厳・生命を尊重する倫理、生命倫理教育」による倫理的判断能力／専門職としてのケアリング／ヒューマンケアの実践能力の育成
- シスター・カリスト・ロイ博士提唱の「ロイ適応看護モデル」に基づく科学的思考と問題解決能力の育成
- 聖マリア病院とともに長年の国際保健医療協力に連携して実践している「国際看護学」の教育

組織的看護婦活動をしていたと思われる。アルメイダが大分で始めた組織的看護夫活動と共に、日本看護史に記録されるべきであろう」と片岡先生は再び述べられています。

1603年、この長崎のミゼリコルディア付属の病院としてサンチャゴ病院が設立されました。誰からも見捨てられたハンセン病の患者や普通の病人をも収容していました。市内の他の会や教会とは別に、沢山の浄財が絶えずこの二つの施設に集まって来たそうです。1612年、サンチャゴ病院増築の際に、“San Tiago Hospital 1612”と銘のあるベル状の銅鐘が作られました。大分県竹田市に現存し、国指定重要文化財「銅鐘」（サンチャゴの鐘）として登録されています。

しかしながら、1614年 江戸幕府による禁教令により長崎の教会群は破壊され（同年、高山右近他も長崎より国外追放されています。大阪冬の陣の年でもあります）、聖ヤコブ（サンチャゴ）のラテン語読み）教会も破壊されてしまいました。更に1620年、すべてのキリシタン遺構・遺物が墓地に至るまで残らず破却され、慈恵院（ミゼリコルディア）とその諸施設もこわされました（サンチャゴ病院も取りこわされました）。1633年

長崎に華開いたミゼリコルディアの附属のサンチャゴ病院は、同じカトリック信徒による私共の聖マリア病院の設立理念や本学の教育理念と一致し、これを継承するに相応しい鐘がサンチャゴ病院の鐘だと思っています。新たにミゼリコルディアの鐘として、慈しみの心と共に、永遠に鐘の音を皆様にお届けしたいと思います。



学長 井手 三郎

profile

筑波大学大学院修士課程医科学研究科医科学専攻修了。博士（医学）九州大学。聖マリア学院短期大学・教授。学校法人聖マリア学院・事務局長。学校法人聖マリア学院・理事長（平成16年8月～）、聖マリア学院大学・教授（平成18年4月～）、聖マリア学院大学大学院・教授（平成22年4月～）。平成27年4月1日より現職に就任。



CONTENTS

目次

- 1 巻頭言
ミゼリコルディアの鐘
- 3 特集
「熊本地震における傾聴ボランティア活動」
- 5 CAMPUS TOPICS
平成29年度「アメリカ研修旅行」
- 6 平成30年度「入試日程」
- 7 CAMPUS TOPICS
「米国の姉妹大学・施設との交流30周年記念」
- 8 CAMPUS TOPICS
平成28年度「卒業式」
平成29年度「入学式&新入生オリエンテーション」
- 9 CAMPUS TOPICS
「公開講座のご報告」「図書館からのお知らせ」
- 10 平成29年度
外部研究費等の採択状況について



熊本地震における傾聴ボランティア活動

—— 語りを聴くことからの学び ——

聖マリア学院大学 看護学部 教授 日高艶子

2016年4月14日に発生した熊本地震から1年が過ぎました。地震後の復興作業は今もなお続いており、改めて熊本の皆様にお見舞い申し上げます。

熊本地震発生2ヶ月後から本学におきましては、学生が主体となり熊本市内の病院で患者さんや看護師さんを対象とした傾聴ボランティア活動を行ってまいりました。

本稿では、地震発生2ヶ月後から実施した傾聴ボランティア活動の概要と語りを聴くことからの学びについてご紹介させていただきます。

傾聴ボランティア活動の概要

私は、地震発生から2週間後に熊本に入り医療関係の仲間たちを訪問いたしました。訪問先で「何かできることはありませんか」と尋ねると、T病院の院長先生から看護学生さん達に傾聴ボランティアをお願いしたいとの要望がありました。

それは、自らも被災者である看護師さん達が「患者さんの話をゆつくり聴きたいけど、聴けない」ことに心を痛めているというものでした。また、看護学生だからこそできるボランティア

ではないかともご提案いただきました。

早速大学の協力を得「学生主体の傾聴ボランティア活動」がスタートいたしました。活動内容は、午前中はケアを通して患者さんのお話を聴かせていただき、午後からは、看護師さん達から震災当日の状況やこれまでのお気持ち、そして、今現在のお気持ちについて聴かせていただくというものでした。活動期間は、平成28年6月から平成29年6月までの1年間、訪問回数は15回、学生の延べ参加者数は93名、教職員の参加者を加えると総数197名となりました。

語りを聴くことからの学び

看護師さん達は、平成28年4月14日の地震発生時に「病院に行かなければ、患者さんを守らなければ」と思っ

て病院に向かったこと、「病院に行かなければ……でも、家族も守らなければ……と、葛藤したこと」「今でもあのときの判断が正しかったかどうか迷っていること」など多くのことを語ってくださいました。

看護師さん達の語りを聴き、学生達のレポートには、「自らも被災者でありながら、今日までケアの実践を続けてこられた看護師さん達の姿を誇りに思い、看護専門職としての意識の高さを学びました。そして、看護師になることへのモチベーションが高くなりました。」と記載されていました。また、地震によって地域の人々がお互いに関心を持ちコミュニケーションが増え、繋がりが出来たとの語りにも多くの学生の関心が寄せられました。傾聴ボランティアは学生の専門職意識を高め、コミュニケーション能力、とりわけ「聴くことの中から」を学ぶ機会となりました。また、語ってくださった看護師さん達からは、「今まで話せなかつ

た気持ちを整理する機会になりました」「すっきりしました」とのご意見を頂きました。

傾聴ボランティア活動からのバトン

傾聴ボランティア活動は、新聞やテレビで小さな話題となり、本学にも活動内容のDVDが送られてきました。つい最近の1年生の授業で傾聴ボランティア活動のDVDを視聴したところ、「先輩達がきらきらしていた」「先輩たちの笑顔が患者さん達の笑

顔を生み出していた」「看護師になることへのモチベーションが高くなった」との意見が述べられました。

傾聴ボランティア活動に参加し、看護師さん達の語りを聴くことから専門職意識を学んだ学生たちは、映像に映るその姿から後輩たちの学修意欲を高めました。

熊本地震で被災され、大変な日々を過ごしてこられた熊本の皆様が、私達に与えてくださった貴重な学びを決して忘れることなく、学生達に伝えていく所存でございます。

第3回国際ケアリング学会学術集会

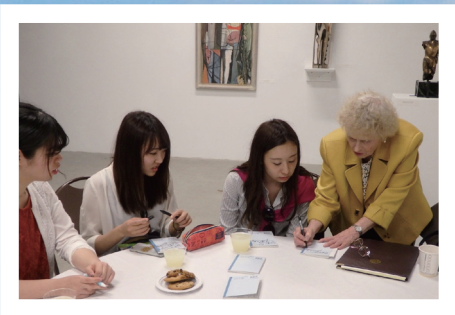
会 期：平成29年3月25日(土)・26日(日)
会 場：久留米シティプラザ(福岡県久留米市)
大会長：矢野正子(聖マリア学院大学・人間総合科学大学)
テーマ：Caring and Practice
～ケアリングをどのように実践していくか～

名誉会長であるJean Watson先生を米国よりお招きし、このたび第3回目となる学術集会が久留米市において2日間にわたり開催されました。「交流集会(ナース・キャリアカフェ特別版)」では、本学の学生により傾聴ボランティア活動の内容が報告され、他大学の学生や参加者と活発な意見交換が行われました。



アメリカ研修旅行

2017年3月12日～19日の8日間、アメリカ研修旅行が実施されました。今回は3年生7名、2年生8名の計15名が参加しました。
日本とアメリカの医療体制の違いを学ぶこと、日本との文化や環境の違いを感じることも、学生たちはそれぞれに目標をもつてこの研修に臨みました。
アメリカの医療や異文化について、実際に自分の目で見て、あるいは触れたことで理解がより深まり、視野が広がったようです。とても貴重な経験となりました。



ロイ適応看護モデル提唱者、シスター・カリス・ロイ博士にもお会いすることができました。

◎アメリカ研修旅行スケジュール

1日目	3月12日	日本出国、ロサンゼルス到着
2日目	3月13日	セントジョセフ病院・オレンジ郡こども病院見学
3日目	3月14日	マウントセントメリーズ大学訪問・研修・学生交流会
4日目	3月15日	移動日:ホノルルへ
5日目	3月16日	セントフランシスホスピス訪問・研修
6日目	3月17日	自由行動
7日目	3月18日	アメリカ出国
8日目	3月19日	帰国



入試日程のお知らせ

本学では看護学部看護学科、専攻科助産学専攻、大学院看護学研究科を設置しており、平成30年度の入試日程は左記の通りとなっております。

何かご質問等がありましたら、本学入試事務室までご連絡をお願いいたします。



平成30年度 入試日程

看護学部看護学科

推薦入試(公募・前期／指定校／系属校) 学士・短期大学士入試 社会人入試

出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
平成29年11月1日(水)～11月9日(木)	平成29年11月18日(土)	平成29年11月30日(木)	平成29年12月11日(月)

推薦入試(公募・後期)

出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
平成29年12月4日(月)～12月13日(水)	平成29年12月23日(土/祝)	平成30年1月11日(木)	平成30年1月23日(火)

一般入試

出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
平成30年1月5日(金)～1月23日(火)	平成30年2月9日(金)	平成30年2月20日(火)	平成30年3月5日(月)

センター試験利用入試(前期)

出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
平成30年1月22日(月)～2月1日(木)	平成30年2月21日(水)	平成30年2月27日(火)	平成30年3月12日(月)

センター試験利用入試(後期)

出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
平成30年2月14日(水)～2月28日(水)	平成30年3月6日(火)	平成30年3月8日(木)	平成30年3月19日(月)

専攻科助産学専攻

推薦入試

出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
平成29年9月11日(月)～9月21日(木)	平成29年9月30日(土)	平成29年10月11日(水)	平成29年10月24日(火)

一般入試(前期)

出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
平成29年10月4日(水)～10月19日(木)	平成29年11月18日(土)	平成29年11月8日(水)	平成29年11月21日(火)

一般入試(後期)

出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
平成30年2月1日(木)～2月15日(木)	平成30年2月24日(土)	平成30年3月2日(金)	平成30年3月15日(木)

大学院看護学研究科(修士課程)

大学院入試(秋期)

出願資格認定審査申請期間
平成29年9月1日(金)～9月15日(金)

大学院入試(春期)

出願資格認定審査申請期間
平成30年1月5日(金)～1月16日(火)

大学院入試(秋期)

出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
平成29年10月4日(水)～10月19日(木)	平成29年10月28日(土)	平成29年11月8日(水)	平成29年11月21日(火)

大学院入試(春期)

出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
平成30年2月1日(木)～2月15日(木)	平成30年2月24日(土)	平成30年3月2日(金)	平成30年3月15日(木)

【平成29年度学生募集イベント】

大学説明会(高校教員対象)
平成29年6月23日(金) 13:30～16:00(受付13:00～)



MOBILE SITE
モバイルサイトは
こちらから

聖マリア学院大学 大学院

検索

本学大学院では詳しい資料を請求することができます。大学入試事務室までご連絡ください。

TEL.0120-35-7271

また大学院のサイトは以下のQRコードからもアクセス可能です。

米国の姉妹大学・施設との交流30周年記念

米国の姉妹大学であるロサンゼルス・マウント・サント・メリーズ大学及び
ハワイ・ホノルルのサント・フランシス・ホスピスとの交流30周年を記念して、
両施設を本学学生と共に訪問しました。
同じカトリックの精神に裏付けられる施設同士であり、
非常にアットホームな雰囲気交流30周年を祝いました。



▲ロサンゼルス・Mount Saint Mary's University, Chalon Campusのチャペル前にて



▲Provost and Academic Vice President, Robert J. Perrins
先生と共にロサンゼルス・Mount Saint Mary's University,
Doheney Campusにて



▲著名な看護理論家Sr.Calista Roy先生と共にロサンゼルス・
Mount Saint Mary's University, Chalon Campusにて



▲Director of Corporate Affairs, Gary Simon氏と共に、ハワイ・ホノルル・
St. Francis Hospice Westにて



▶30年前の交流開始の
新聞記事(ロサンゼルス・
羅布新報・1987年9月5
日) 本学の前身である聖
マリア学院短期大学の第
1期の学生約80名が参
加しました。

卒業式

▼平成29年3月4日(土)
看護学部看護学科第8期生
113名、大学院看護学研究科第
6期生5名、専攻科助産学専攻第
4期生13名が卒業を迎え、新しい世

界へと旅立ちました。清々しく晴れ
やかな卒業生の笑顔と、それを優し
く誇らしげに見守る先生方の笑顔に
溢れた素晴らしい卒業式でした。



入学式&新入生オリエンテーション

▼平成29年4月4日(火)
桜が舞い散る中、看護学部看護学
科第12期生111名、大学院看護
学研究科第8期生5名、専攻科助
産学専攻第5期生10名が新しく聖

マリア学院大学の門をくぐりました。
新入生は少し緊張した面持ちで入
学式に臨んでいましたが、翌日のオリ
エンテーションでは、先輩や先生方の
歓迎を受け、笑顔でいっぱいでした。



公開講座のご報告

聖マリア学院大学では、地域に開かれた大学として市民の皆さんと共に健康で安心して暮らせるケアリング（お互いを尊重し合える）文化の創造を目指して、公開講座を実施しております。

平成29年度は、昨年引き続き、「よりよく生きる」を共通のテーマとしてケアリングサイエンスについてかんがえていきます。



時期：2017年9月～2018年1月
場所：聖マリア学院大学、
一番街プラザほっとステーションマリア

詳細が決まりましたら、本学HPにてお知らせいたします。
たくさんの御来場を教職員一同、お待ちしております。

図書館からのお知らせ

新図書館ついに完成！
2017年10月オープン！

聖マリア学院大学では、現在「図書館棟」の新築工事が進んでおります。

（学修支援機能）やラウンジのオープンスペースも併設した設計となっており、教育改善の充実を図るもので、2017年10月に開館予定です。

書架や自修室といった伝統的な図書館機能に加え、ラーニング・コモンズ



※イラストはいずれも竣工イメージで、変更となる場合があります。

平成29年度 外部研究費等の採択状況について

本学では、教育への還元を前提とした各専門領域における学術研究の推進方策の一環として外部研究資金の獲得を奨励しているところ

です。

独立行政法人日本学術振興会を介した科学研究費助成事業は、人文・社会科学から自然

科学まで全ての分野に亘り、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」を発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。

平成29年度の外部研究費に関する採択状況については左記のとおりです。



※平成29年7月20日現在

平成29年度 科学研究費助成事業
(学術研究助成基金助成金)等交付状況

科学研究費助成事業	研究代表者	新規採択者	事業名	採択者氏名	研究課題名
			基盤研究C	鶴田明美	自己イメージに焦点を当てた支援プログラムが中堅前期看護師の看護実践力に及ぼす影響
			基盤研究C	小浜さつき	自発性を賦活させる熟練看護師の看護実践を支える暗黙知の解明
			基盤研究C	川口弥恵子	特定妊婦をシームレスに支援するための“関連部署・多職種連携システム”の構築
			基盤研究C	安藤満代	在宅ホスピスでの患者と家族に対するナラティブ・アプローチのプログラム開発
		若手研究B	渋谷暁春	介護老人福祉施設におけるPDアプローチによる感染対策効果の検討	
		継続採択者	基盤研究C	日高艶子	半側空間無視の代償行為の獲得を促す主意的役割を用いた看護介入の効果
			基盤研究C	中尾友美	タイムマネジメントスキルを活用した有職糖尿病患者への教育プログラムの開発と評価
			基盤研究C	田中千絵	医療が必要な障害児のよりよい地域生活支援のための「医療的ケア必要度スコア」の開発
			基盤研究C	白井ひろ子	看護管理者のための怒り感情マネジメントプログラム開発
	挑戦的萌芽研究		松原まなみ	演劇を用いたシミュレーション授業と教材開発に関する研究	
	研究分担者	若手研究B	小森あき奈	倫理教育教材の開発につながる臨床看護師のMoral Residueに関する研究	
		若手研究B	鬼丸美紀	高齢者のヘルスリテラシーと服薬管理の関連	
		基盤研究B	秦野環	長年に渡る戦争による反射的Trauma体験が後年の心身に及ぼす影響に関する調査	
		基盤研究B	中尾友美	糖尿病患者セルフケア能力測定ツールを活用した外来患者用ICT看護システムの開発	
		基盤研究C	日高艶子	自発性を賦活させる熟練看護師の看護実践を支える暗黙知の解明	
		基盤研究C	小浜さつき	半側空間無視の代償行為の獲得を促す主意的役割を用いた看護介入の効果	
		基盤研究C	松原まなみ	特定妊婦をシームレスに支援するための“関連部署・多職種連携システム”の構築	
		基盤研究C	桃井雅子	特定妊婦をシームレスに支援するための“関連部署・多職種連携システム”の構築	
		基盤研究C	鮎川春美	在宅で暮らす認知症の人の介護者支援のためのガイドライン開発	

在学生、並びにご家族のみなさまへ

◎進級・留年、成績状況、履修状況等の通知について

在学生並びにご家族の方へ対し、所定の時期において、進級・留年の決定や、成績状況、科目履修状況等の通知をお届けしています。学部等の課程別に対象や時期は異なっていますが、ご家庭におかれましても、日頃より学校生活に関するお話の機会を持っていただき、側面からの学習支援に、ご理解とご協力をお願いいたします。

◎進級・卒業要件、履修要件にご留意ください

授業科目の履修に際しては、特に科目登録時における手続漏れが無いよう、学生便覧を参照の上、卒業までに必要となる授業科目(必修科目・選択科目)、単位数について理解した上で、各自の責任において計画的に履修しましょう。

- *授業科目に関しては、各々の開講年次や、1年間に登録できる単位数の上限が定められています。
- *上級学年に進級するには進級要件を満たす必要があります。
- *基盤臨床系科目や、各論実習科目を受講するためには各々の科目の履修要件を満たす必要があります。

◎「保健師」国家試験(選抜制)の受験希望者の単位履修について

～対象:看護学部2012年度以降の入学生～

保健師国家試験の受験資格を得るためには、卒業に必要な単位数に加え、3年次以降に開講される“地域看護学”に関する所定の科目の単位を修得する必要があります。履修者は学内選抜により決定することとし、履修申し込み手続きには、2年次後期に行う予定です。保健師国家試験を受験希望の方は、手続き漏れがないよう、特にご留意ください。

*平成29年度履修者より課程履修費80,000円が必要になります。



本学の奨学金制度について(ご案内)

本学では大学独自の奨学金について以下の4つの制度があります。

詳細につきましては学生課までお問い合わせください。

TEL.0942-50-0222

聖マリア学院大学 特待奨学金 金額:50万円または20万円 返済義務:なし 採用人数:若干名	聖マリア学院大学 子弟等奨学金 金額:入学金相当額の半額 返済義務:なし
聖マリア学院大学 緊急時奨学金 金額:当該学期の授業料 および施設維持費相当額を上限 支給:1名につき2回まで 採用人数:若干名	雪の聖母会聖マリア病院 聖マリア奨学金 金額:年間の授業料相当額を上限 返済義務:卒業時に一括返還 貸与期間:修業年間を上限 採用人数:若干名



2017年7月発行 聖マリア学院大学キャンパスレター[マドンナ]
発行/聖マリア学院大学 〒830-8558 福岡県久留米市津福本町422
TEL.0942(35)7271 FAX.0942(34)9125

※本誌掲載の写真・図版・記事などの無断使用・転載・複製を禁じます。



MOBILE SITE
モバイルサイトは
こちらから

聖マリア学院大学

検索

「百聞は一見に如かず」という言葉がある。意味としては「他人から何度も話を聞くよりも、一度実際に自分の目で見ることがよくわかる」ということで、「漢書」という中国の歴史書から来ている。

特集で取り上げた国際ケアリング学会学術集会で話した本学の学生達の中には熊本県出身の学生がいる。彼女は被災した地元の状況をニュースで知り、実際に被害のあった病院に仲間達と行き、ボランティアを行い、被災した病院関係者と直接対話を行った。交流集会当日の発表は多数の教員を前にしても、説得力があり、真剣なものであった。他学の学生からも称賛されていた彼女達にとっての「見」はまさに百聞どころか二百三百聞の価値があったのだらうと想像する。(MT)